

Numbering code		U-LAS22 10004 SJ48			
Course title <English>		フランス語 I B (文法) 再履修クラス F1161 Primary French B Re-take class		Affiliated department, Job title,Name	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,NISHIYAMA NORIYUKI
Group		Languages		Field(Classification)	
Language		Japanese		Old group	Group C
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Foreign language)
Day/period		Wed.5	Target year		2nd year students or above
Number of credits		2			
Course offered year/period		2019・First semester			
Eligible students		For all majors			
[Outline and Purpose of the Course]					
<p>1 フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。(複言語学習) (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。(複文化学習)</p>					
[Course Goals]					
<p>1) 文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2) 発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3) フランス語を話すための基礎力を身につける。</p>					
[Course Schedule and Contents]					
<p>この授業では前年度の後期分を学習します。9課から始める 1 教材は全部で20課ある。各課は、冒頭の複言語・複文化に関係している「テキスト」と文法事項の説明と練習問題で構成されている。 2 授業時間だけでは、フランス語の文法をマスターすることはできない。授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。 3 授業は、CALL教室で教師とともにする学習と教室外でする自律学習のブレンデッド形式で行う。 4 毎回1課ずつ進み、各課の終了後に小テストを行う。小テストは自己採点し、その結果の自己分析と学習過程に関するポートフォリオも毎回作成する。</p>					
[Class requirement]					
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".					
[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]					
評価は、3回の試験と確認練習・Exerciceに基づいておこない、第1回の授業で説明します。					
[Textbook]					
大木・西山・グラスイアニ 『改訂版 グラメール・アクティーフ 文法で複言語・複文化』 (朝日出版社) ISBN:978-4-255-35233-6					
Continue to フランス語 I B (文法) 再履修クラス F1161(2)					

フランス語ⅠB(文法) 再履修クラス F1161(2)

(Related URL)

<http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/fr/menu.html>(グラメール・アクティヴ)

http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/call_fr/gaf/index.html(確認練習サイト)

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

授業では、教科書の他に各自上記のサイトからダウンロードした教材(サブノート形式の補助教材と確認練習解答用紙)を使う。

授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。

[Others (office hour, etc.)]